

NEWS RELEASE

報道関係各位

2021年10月21日

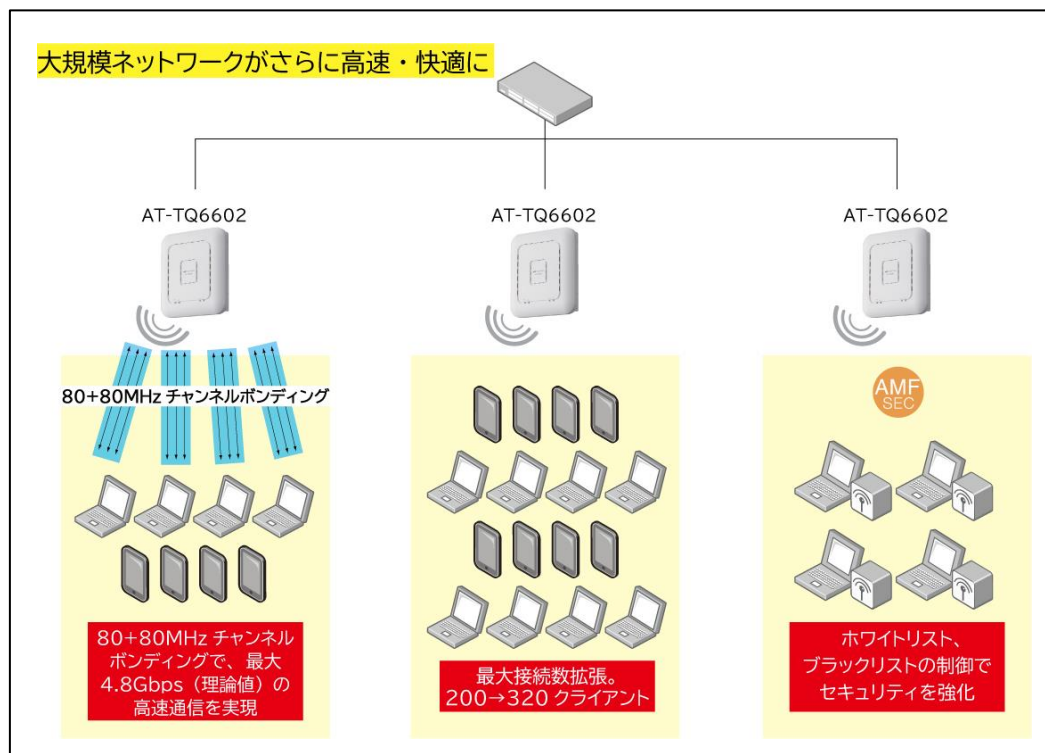
無線LANアクセスポイント「AT-TQ6602」をバージョンアップ。 最大接続端末数の拡張と通信の高速化などを実現し、 大規模ネットワークも快適&安定！

アライドテレシス株式会社(本社 東京都品川区、代表取締役社長 大嶋章禎)は、AT-TQ6602 のファームウェアをバージョンアップし、新ファームウェア「Ver.7.0.1-1.1」の当社ホームページからのダウンロードサービスを10月21日より開始しました。

【AT-TQ6602 Ver.7.0.1-1.1】

- 80+80MHz チャンネルボンディングで
最大4.8Gbps(理論値)の高速通信を実現
- 最大接続クライアント数拡張
- セキュリティ強化

AT-TQ6602
¥148,100(税込¥162,910)



●最大4.8Gbps(理論値)の高速通信が可能になる80+80MHzチャンネルボンディングに対応

当社製 Wi-Fi6 対応の無線 LAN アクセスポイント「AT-TQ6602」のバージョンアップに伴い、従来の周波数 5GHz 帯における 80MHz のチャンネルボンディングよりも、さらに高速通信が可能となる 80+80MHz チャンネルボンディングに対応します。複数の通信チャンネルをまとめ、1つの通信として使用することで帯域幅を広げることができ、最大 4.8Gbps (理論値) の高速通信を実現します。

80+80MHz 使用時は IEEE 802.11ac、IEEE 802.11ax 共に 2 チャンネルを選択することが可能です。これにより、より高速な通信を必要とする環境で 80+80MHz を選択できるようになり、ユーザーは使用する環境に応じて柔軟にチャンネルを選択できるようになりました。

●接続クライアント数の拡張で、最大 320 クライアントに

1 台の AT-TQ6602 に接続できる最大クライアント数が、200 から 320 クライアントへと大幅に拡張しました。大容量・高速通信が可能で低遅延という Wi-Fi6 のメリットを最大限活かし、大規模な無線環境も安定して構築可能となります。

●ホワイトリスト、ブラックリストによる接続端末の制御で、よりセキュリティを強化

自律最適化と予測分析によりネットワーク管理者の業務・知識・経験を機械化し、運用管理の費用や工数を削減する当社独自のソリューション「AMF (Autonomous Management Framework)」のアプリケーションプロキシに対応^{※1}します。これにより、ホワイトリスト、ブラックリストの制御が可能となります。標的型サイバー攻撃やマルウェア、ランサムウェア、ウイルスなどに感染した端末を自動的にネットワークから通信遮断して、被害の拡散防止を自動的に実現するため、これまでよりもさらにセキュリティの強化が可能となります。

●その他のAT-TQ6602用ファームウェア Ver. 7.0.1-1.1で追加・拡張した機能および詳細については、リリースノートをご覧ください。

<https://www.allied-telesis.co.jp/support>

■AT-TQ6602 詳細はこちらから

→<https://www.allied-telesis.co.jp/products/list/wireless/tq6602/catalog.html>

※1) AMF-SECURITYをVer. 2.3.0にアップデートしておく必要があります

注)記載されている商品またはサービスの名称等はアライドテレシスホールディングス株式会社、アライドテレシス株式会社およびグループ各社、ならびに第三者や各社の商標または登録商標です

<<製品に関するお問い合わせ>>
E-Mail: info@allied-telesis.co.jp
<https://www.allied-telesis.co.jp>

<<ニュースリリースに対するお問い合わせ>>
マーケティングコミュニケーション部

Tel: 03-5437-6042 E-Mail: pr_mktg@allied-telesis.co.jp

アライドテレシス株式会社 **東京都品川区西五反田 7-21-11 第 2 TOC ビル**